

本社

1 事業所概要

- ▶ 住所 大阪府大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号
- ▶ 従業員数 約1,630名（内 クボタ従業員:約650名）
- ▶ 敷地面積 16,620㎡

2 事業概要

- ▶ 事業内容 機械事業分野
水・環境・インフラ事業分野
- ▶ 主要製品
農業機械・エンジン・鉄管等



3 事業所変遷

明治 34年	南区北高岸町(現・浪速区敷津東)に「北高岸町工場」新設
明治 41年	南区北高岸町(現・浪速区敷津東)に「本店工場」新設
大正 7年	本店工場を「本工場」に改称
大正 15年	本工場を「船出町工場」に改称
昭和 20年	大阪大空襲により船出町工場焼失
昭和 23年	船出町工場を復興
昭和 35年	本社新社屋(現・本社第二ビル)竣工
昭和 43年	本社別館(現・本社第一別館)竣工
昭和 45年	体育館、健保会館竣工
昭和 48年	船出町工場廃止 本社第二別館竣工
昭和 52年	本社新館(現・本社ビル)竣工
平成 18年現在	(株)クボタ本社および関連会社17社のオフィス拠点

4 環境方針

全社環境方針

1. すべての企業活動において環境保全に取り組みます
2. 地域社会との共生を図る環境保全に努めます。
3. 環境保全に計画的に取り組みます。
4. 環境管理を徹底します。
5. 環境コミュニケーションを積極的に推進します。

本社環境方針

1. 省エネルギーを推進し、CO₂排出量の削減、廃棄物の再利用・排出抑制・再資源化に取り組み、ゼロ・エミッションを目指します。
2. 環境関連法規制及び当事務所が同意するその他の要求事項を遵守し、維持します。
3. 地域社会とのコミュニケーションを図り、地域の環境保全に取り組みます。

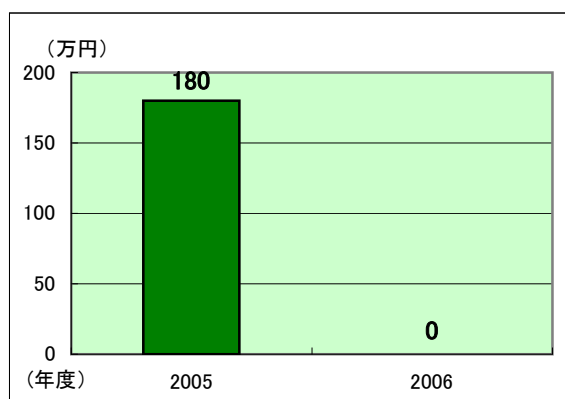
5 目標及び実績

課題	テーマ	管理指標	基準年度	最終達成目標	2006年度		
					目標	成果	自己評価
循環型社会の形成	ゼロ・エミッション化	埋立廃棄物	—	0.5%	0.8%	0.8%	○
	グリーン購入推進	購入金額比率	—	100%	95%	95.3%	◎
地球温暖化防止	CO ₂ 総排出量削減	CO ₂ 排出量	2005	▲3%	▲1%	▲0.35%	×

※自己評価の基準 ◎:目標超過達成 ○:目標達成 △:目標一部達成 ×:目標未達成

6 環境会計

① 環境保全投資金額



② 環境保全効果

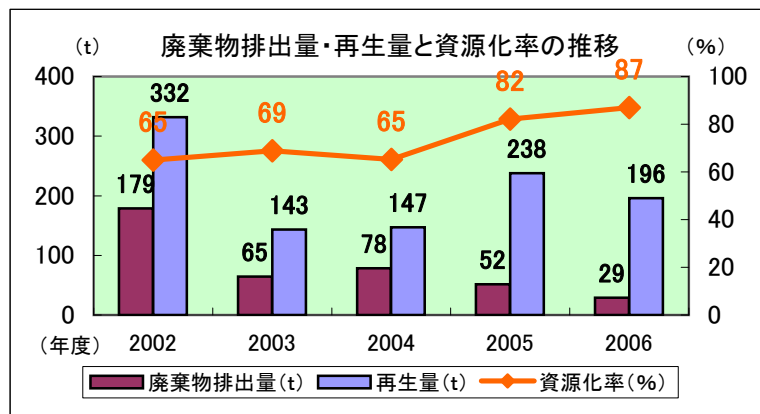
効果の内容	効果	2005年度	2006年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算GJ)	92489	92692	203	100%
	水使用量(m ³)	42254	36053	－6201	85.3%
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO ₂ 排出量(t)	3704	3692	－12	99.7%
	廃棄物排出量(t)	52.0	29.0	－23	55.8%

7 環境パフォーマンス

① 循環型社会の形成

廃棄物排出量の削減
資源化率向上

廃棄物排出量は2005年度比
44%減少しました。
今後も資源の有効利用に
努めます。

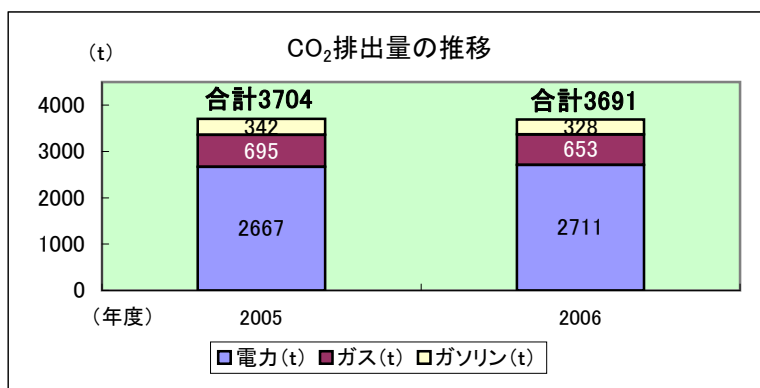
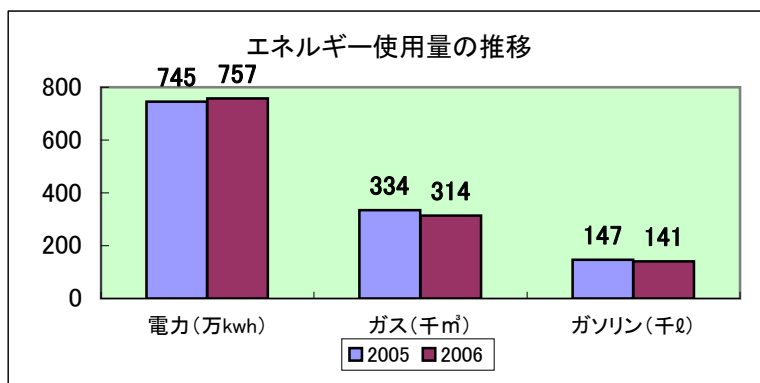


② 地球温暖化の防止

省エネルギー
エコカー導入、エコドライブ

CO₂総排出量の削減

CO₂総排出量は2005年度比
0.3%減少しました。



8 環境保全活動・啓発活動

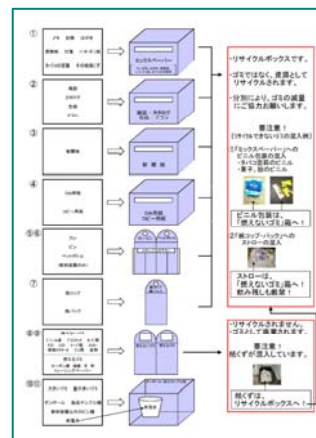
① エコオフィス運動

クボタ本社では2003年12月から「エコオフィス運動」をスタートさせ、今日まで継続的に実施しています。

主な活動内容	主な推進内容
温室効果ガスの削減	不要な照明、OA機器の電源OFF
省エネルギー	こまめな空調オンド管理の実施
一般廃棄物の削減	分別回収とリサイクルの徹底 紙ごみの削減と加味リサイクルの徹底
グリーン購入の促進	グリーン商品の優先購入(べんりねっとの導入)



べんりねっと画面



分別状況

② 資源の有効利用～雨水で水道使用量を削減

膜を使った中水道設備で雨水や厨房排水を処理し、トイレの洗浄や植木の散水に利用しています。

- 節水量 10,242m³/年
- 経費削減 100万円/年



膜を使った中水道設備

③ 啓発活動

環境教育・啓発活動の一環として、「本社ブロック・エコオフィス通信」を毎月配布しています。



本社・エコオフィス通信

9 外部表彰

本社(第二ビルおよび第一別館)は、昨年度、大阪市環境事業局より「ごみ減量優良建築物」表彰を受賞しました。(2006年10月)

